

平成20年度第1回（第6期第8回）浦安市廃棄物減量等推進審議会（議事要旨）

1 開催日時 平成20年5月15日（木） 午前10時～午前12時

2 開催場所 文化会館 中会議室

3 出席者

（委員）

横山会長、服部副会長、木村委員、大高委員、奥井委員、前野委員、樋渡委員、
芝田委員、小川委員、木元委員、大塚委員

（事務局）

古賀部長、押尾次長、恒松クリーンセンター長、永井課長、峰崎リーダー、花
田リーダー、毎田主任主事

4 議 題

（1）平成19年度ごみ量の実績報告

（2）一般廃棄物処理手数料の料金改定について(報告)

5 議事の概要

（1）平成19年度のごみ量の実績について報告及び内容説明。

（2）事務局より一般廃棄物処理手数料の料金改定について過去の経緯と議会報
告。

6 会議経過

傍聴者の入場、会長挨拶、委嘱状交付（1名）、人事異動による事務局の挨拶を
行った後、会長が議事を進行した。

事務局から「平成19年度ごみ量の実績について」の説明を行い、委員より意見
及び質問を受けた。その際の意見及び質問と事務局の回答は次のとおり。

- ・委 員 浦安市ではごみ減量に努力をされて、ごみの全体量も前年と比べ増減
率が-2.7%と減量されているところですが、他の市町村の状況も何かわ
かれば増減率だけでも教えてほしいです。市町村によってごみのボリュ
ームが違いますが、例えばお隣の市川市等で18年度と19年度の比較が
わかれば教えてください。今回、他市の資料の持ち合わせが無ければ次
回の審議会のときに報告をしていただければかまいません。

・事務局　今回持ち合わせがございませんので、申し訳ございません。次回の審議会のときに資料を提出いたします。新聞で千葉市が大幅な減量を働いたということで記事が載っていましたが、そのごみの減量の度合いの比較となりますと、浦安市のこの数字が果たしてどの程度有意義なものかわかりませんが、現実問題として各市で減る傾向にはあるんだと思います。補足になりますが、事業系ごみが4.1%減というのは、浦安市の中での比較なのですが、平成15年度から見ていただくとおわかりになるように、横ばいかちょっと増えるということで、なかなか減るということには至っていないのですが、平成19年度にして始めて減ったという事で、この審議会でも答申をいただいている廃棄物処理基本計画という事業スパンで事業系ごみを10年くらいの中に5%減らそうと言いつけてきてなかなか達成できなかったのですが、今回4.1%減という数字は、事業者さんの努力の結果だと思います。

市の関わり方としてはここ1.2年、多量にごみを排出される事業者様方のご協力もあり、市も調査に伺い、それに対応していただいた成果が現れてきたと思います。多量排出事業者さんのごみを減らすということについて影響は大きいですね。今後もこの数字をなるべくいい方向に伸ばしていければと考えています。

・委員　事業ごみが減量と言う事で、こうして数字で現れますと大変喜ばしいです。当社単位でいいますと、食品のリサイクルや分別回収など、その辺については特に負担に感じている部分は無いですね。企業ごとの取り組みの度合いもあると思います。ちょっと話が脱線しますが、舞浜のホテルは6社で会議体系がありまして、私はこの会議に出てその内容を報告しているわけですが、各社が持ち帰られて社員の方々に告知できるようなものが資料としていただけると、ビジュアル的にわかりやすいと他のホテルさんから言われたものですから伝えました。

・会長　それはいいですね。さっきも継続という話をしましたが、やはり出来たときには一生懸命やろうと思って他の方もやられますけど、実際の従

業員の方がいつもそれを継続していかなければならないので、自分たちがやった結果がこんな感じに出るといえるというのがあるといいですね。ありがとうございます。

- ・事務局　今はインターネットの時代なので、事業系の排出処理で多量排出事業者の努力が、このような数字で現れているという確認をしていただくためにもホームページへの掲載や多量排出事業者さん向けの説明会みたいなものをパワーポイント等で資料を作り、持ち帰っていただくなど、お話いただいた趣旨を十分反映しながら考えて行きたいと思います。

- ・委員　市民の方がごみに対して意識が良くなったなと感じるのは、図書館やスーパーなどにある資源ごみを回収するボックスがありますよね？あれが行くたびに前は少なかったのですが最近は満杯になっていました。回収ボックスが低く入れやすくなっているんですね。業者の方も努力されて、家庭の方もそれなりに意識が高まってきたのかなと最近感じておりました。

- ・会長　そうですね。相乗効果というのがあって、みなさんが持ってきていると思えば次のときは持っていこうと思いますよね。

- ・委員　今は回収ボックスが足りないくらいで、もっと回収して少ない状態にしておかないといけません。そちらのほうの回収をお願いしたいと思います。

- ・会長　資源回収への認識が上がってきたという反面、他のところで手を抜くと持ち去りが出てしまう。資源物の持ち去り条例を決めたらそれを継続させていかなければならないという事があり大変だなと思いました。私の住まいは入船地区で、資源ごみの回収日にごみステーション前で2軒の業者さんが金属ごみを一生懸命物色していたのです。朝9時ごろ車の二人組みで一人が運転、もう一人が荷物をトラックの荷台に乗せていくような感じでした。もう一方は個人で不燃ごみから抜いていくような感

じでした。

- ・事務局 具体的な数字は申しあげられないのですが、銅などもそうですが、スチール缶やアルミ缶を高値で買取されています。スチール缶はこのところほぼ倍近くの金額になっています。それ以外に金属類というのも市場があるということなので、古紙やこういったものについても、持ち去る人たちが増えてきたというのは確かにあります。古紙を主にした持ち去り条例を平成 19 年度に市で作りまして、取締りを行っていますが、今回紙が減ったというのは、4 月当初にだいぶ持ち去られた時期のものが反映されているのですが、パトロールをすると一時減ります。しかし、ちょっと緩めると馳ごっこみたいなことがあります。最近ではトラックではなく、我々がよく乗っているようなワゴン車を使ってこまめに新聞を持ち去って行くという業者も出てきたようなので、なかなか困難な状態ですけど、一度条例を作って取り締まる事を決めたからには、少しずつやり続けて行くしかないのかなと思っています。

続いて、事務局より、一般廃棄物処理手数料の料金改定について過去の経緯と議会報告を行い、委員より意見及び質問を受けた。その際の意見及び質問と事務局の回答は次のとおり。

- ・会 長 一般廃棄物処理手数料の料金改定について周知を徹底してほしい。
- ・事務局 市民に幅広く周知するため、財政課が中心となって市全体の使用料及び手数料改定の周知を広報の 5 月 1 日号で掲載しております。一般廃棄物処理手数料の料金改定については来年 1 月からなのですが、概ね市全体の他の料金改定が 10 月 1 日からですので、9 月 15 日号か 10 月 1 日号で新たに財政課より広報にて周知することです。ごみゼロ課では、6 月 15 日号、12 月 1 日号、1 月 1 日号にて周知いたします。また、6 月からホームページにも掲載し、周知していきたいと思えます。その他市民向けに各公共施設へ改定を伝えるポスターを作って掲示させていただきたいと考えています。事業所に関してはクリーンセンター

の窓口へ来られた際に掲示と合わせて説明させていただきます。少量事業系指定袋使用の事業者については6月に市内の事業所全てに改定の通知を送付いたします。また、パンフレットの内容が変更になりますので、11月中に改定されたパンフレットを各事業所へ送付する予定です。

・会 長 広報への周知についてですが、ビーナスニュースには載せないのですか？

・事務局 ビーナスニュースにも載せて行きたいと思います。皆様の答申の中では、ご意見として事業者や市民への周知と理解を可能な限り求めていくという事で、それを十分踏まえて出来るだけ多く載せていきます。当初広報も4回載せるという事で予定していたのですが、紙面が裂けないとのことなので、全戸配布についてはビーナスニュースを入れて4回ということで実施したいと考えています。

・会 長 この審議会でも、みなさんに知ってもらおうと頑張って3月議会に上げていただいたのでよろしくをお願いします。

・委 員 広報などの周知に関してなんですけど、例えば交番やスーパーなどにもポスターを貼ったらどうでしょうか。あと、目が悪いので文字を大きくしてもらわないと読めない人もいると思います。そういった身近なところでも掲示していただいた方が良いと思います。

・会 長 スーパーですね。公民館はポスターという形で掲示すると事務局から説明があったのでスーパーでもお願いしたいと思います。

・事務局 さきほど、ご説明したように公共施設については、ほぼ全施設に掲示したいと思います。改正内容の趣旨についてはわかりやすく掲示したいと思います。交番と言う意見がありましたが、スーパーや事業所などみなさんがお買い物に行かれるような所で掲示が可能であれば当たってみようと思います。

- ・委員 交番は、あまりそういう点では、一般向けでは無いようですね。
- ・事務局 周知の方法はいろいろな方法を考えさせていただきます。よろしくお願ひします。
- ・委員 周知の方法と言う点で、今も建設中のマンションがあります。これから新しい市民の方が入居されると思うのですが、あらかじめ不動産会社やマンションを売る業者を通して浦安市のごみの出し方を知らせておければと思うのですが、何かいい方法があればと思います。
- ・事務局 マンションの業者の方が事前にパンフレットを取りに来られるといったケースが多くあります。新しいマンションの場合は、部数が多いので事前に連絡をいただくような形で部数を用意し、説明しながら渡すような事をしています。
- ・会長 今回は諮問が出ていないということで、勉強や意見交換をしていきたいと思います。今申し上げて、すぐに意見が無いかもしれませんが、みなさんで勉強してみたい事や審議会の中で情報を共有していきたい事がありましたら、言っていただければすぐに取り掛かれるんですが、後日でもかまいませんので、お願いしたいと思います。そんな中でどなたか何かありませんでしょうか。
- ・委員 私の住んでいる地区は花火大会の影響もあることから、自治会の活動で次の日に一人に一枚ずつゴミゼロ運動の袋を配り清掃を行いました。がごみがほとんど無く、袋の中にタバコの吸殻3本程度という状況で逆に袋自体がごみになってしまっているの、ごみを拾う事だけがイベントという意味ではないように今後のイベント等で考えていけないかと思いました。
- ・会長 主催する側と上手に連携してやることですね。

- ・事務局 地域ネットワーク課で一昨年はごみを持ち帰るよう花火大会会場でアナウンスをしましたが、昨年からごみは置いて行くようアナウンスをしました。置いて行く代わりに、「ごみは分別して捨ててください。ごみは持ち帰らないでください。」とアナウンスをしました。そうしたところ花火大会会場内のごみが一昨年と比較にならないくらい、無くなってしまいました。一昨年通りごみが出るという予測で近隣のマンションにお渡ししてお願いしましたが、全くごみが無い状態が出来上がりまして、うれしい悲鳴をあげた次第です。誰もが予想外という結果になってしまいました。今年は地域ネットワーク課とうまく連携を取り、去年の経験から必要無いという認識は持っていると思いますので申し伝えます。

- ・会長 予想外に良かったという事をどこかに載るといいですね。

- ・事務局 本当に臭い言い方で言うと感動的です。本当きれいに分けていただいたと思います。それを小出しで伝えて行くのではなく、どこかできちんとアナウンスをするというのは確かに大事であるし、参加された方も、もう一度そうしようと思われるかもしれないですし、心がけるようにします。それから、ごみ拾いのイベントをパフォーマンスの為だけに行ってしまうのは逆にごみが増えるんじゃないかと言う側面もあると思います。今、民間ベースで浦安のごみ広い運動をかなり大きな規模でやろうとしていますけど、ごみをとにかく拾ってきれいにしようということで、当初市に応援依頼があり、ボランティア用のごみ袋を少し分けてほしいとお願いをされた時期がありましたが、それは今の現況に合わないということで、使っていないレジ袋やお住まいで使用されているごみ袋を利用して集めて行こうという形になり、市民の方も考え方が変わってきたのかなと思います。袋のことまで考えて集めるようになったという事はあると思います。

- ・会長 私が今、勉強してみたいと思っているのは、ペットボトルが巷にあんなに増えるかなと思ったくらいに増えましたよね。リサイクルされてい

る先が中国など聞くととても胸が痛みます。国の施策として何かしなければならぬのかなと思いますので、その辺の動向など勉強してみたいと思いますが、何か審議会で今の現状を報告していただくことは出来ませうでしょうか。

・事務局　今年の春ごろに環境省がペットボトルのリターナブル化を支援する考えを持っているという報道があったのを記憶しています。浦安市のデータを見ていると缶やペットボトルが過去に比べ増えている状況でございます。ペットボトルがかなり高値で売られているという実態があり、残鉄もそうですけど、鉱石より残鉄のほうが高く売られている実績がございます。日本の場合、資源が少ないものですから、それぞれ高く倍近くします。こうした資源が中国に渡っている現状を踏まえると、資源が無い日本としては市町村の施策を超えて国がどう方針を示していくのか、ペットボトルのリターナブル化も含め国内でこうした資源が循環するために国はどのような施策を推進するのか注目しているところです。

・事務局　浦安市ではイベントごみはリターナブル食器を使っただくように、市がイベントに参加する方々をお願いしています。市民まつりなどでは市が自ら食器を用意して行っております。市としてはこうしたところからリターナブル化の推進を図っているところです。

・事務局　ペットボトルのリターナブル化ということもありますが、もう一方で素材を製品化しさらにもう一回ペットボトルとして使う PET TO PET という方法が実際に利用されています。いずれにしても外国に売ってしまうのではなく、飲料メーカーがペットボトルを使用して売り出し、それを回収してまたペットボトルにして使用するという全ての循環が見通せるような形に国内で行われることが理想だと思っています。最近見聞きしたんですが、ノルウェーではそのようなシステムがかなり機能しているとお聞きしています。このようなモデルがどこまで日本で通用するかと言う所があるんですけど、今会長が言われたようなペットボトルを取り巻く状況など、これから目指すペットボトルリサイクルを取り巻く

モデルについて勉強する機会を委員さんのご了解を得られれば視察を
からめて今後委員会の中で実施していきたいと思います。

- ・会 長 そういった中でまた今後ご意見をいただければと思います。

続いて事務局より、今後のスケジュールなどについて連絡を行い、終了となった。